



# 上末っ子

令和2年4月6日

4月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

## 新たなスタート 輝く学校

校長 矢島 孝幸

歩道橋門の脇にある桜は満開に咲き続け、新年度のスタートをともに喜び、待ち望んでくれていたかのようです。

新型コロナウイルスの影響で例年とは全く異なった昨年度末でした。約1ヶ月間に渡る臨時休業、児童・教職員と保護者代表1名での卒業証書授与式、1日だけ登校した修了式。経験したことのない教育活動に戸惑う日々でした。

そのような中、令和2年度がスタートします。臨時休業が延長となり、例年とは違う教育活動となりますが、学校が願う子どもたちの健全な成長は、これまでと変わることはありません。本校での学校生活が子どもたちにとって楽しい毎日となり、笑顔で過ごせる日々となるよう教職員一同、全力を尽くして邁進していきたいと思います。子どもたちの安全と健康を第一に考え、充実した教育活動となるよう精一杯努めてまいります。そして、一日も早く今までと同様な学校生活をおくれる日々が来ることを切に願います。

令和2年度は、本校にとっても節目の年となります。本校の目指す子どもの姿を明確にするために学校教育目標を【学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子】と改善しました。子どもの「学び」と「かかわり」が充実した教育活動を一層進めていきます。そして、子どもにも自分が目指す姿の意識づけを図ることを大切にしていきます。教職員と子どもたちが目指す姿を共有し、同じ方向を向いて学校教育目標の実現を図っていきたいと思います。

始業式はテレビ放送となってしまい、子どもたちの顔を見ることができず残念でした。登校してくる子どもたちの顔は希望に満ちており、進級したことによる気持ちの高揚と一年間の期待が、表情に表れていました。子どもたちの姿を見ていると、学校の主役は子どもたちであるということを改めて実感しました。

入学式は88名の新1年生が新しい門出に喜びを感じ、上末吉小学校の門をくぐりました。小さな背中に大きなランドセル…ランドセルの中には入りきれないほどの希望と楽しみが詰まっていることでしょう。入学した全員が「上末吉小学校が好き。」と感じられる学校となるよう精一杯頑張ります。笑顔が輝く子どもの姿、生き生きと活動している子どもの姿が満ちている学校にしていきます。そして、子どもの素敵な姿を地域・保護者の皆様に伝えられるようにしていきます。

保護者、後援会、地域の皆様、一年間ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

